

平成19年度一般会計当初予算

【安心】豊かな天然自然・磨き輝き戦略

(単位：千円)

事業名	予算額	事業概要	所管課
1 自然公園ワイズユース推進事業	1,506 (1,861)	ラムサール条約登録効果により、利用者の増加が見込まれるくじゅう山系について、自然環境の保全と観光地としての利用を両立させるための適正な利用（ワイズユース）を関係団体、機関等で検討する。	景観自然室
2 ごみゼロおおいたキャンペーン展開事業	3,144 (3,665)	美しく快適な大分県づくりに向けた県民総参加の取組として「夏の夜の大作戦（キャンドルナイト）」や「県民一斉ごみゼロ大行動」を実施するほか、四季折々の風情を取り入れた省エネ・省資源型ライフスタイルの実践を呼びかける。	ごみゼロおおいた推進室
3 大分県版エコマネー「めじろん」推進事業	4,048 (4,377)	ごみゼロおおいた作戦への県民参加を促進するとともに、おおいた国体・おおいた障害者スポーツ大会をPRするため、環境保全活動の参加者等に大分県版エコマネー「めじろん」を交付する。 ・交付対象 ボランティアによる美化活動、マイバッグ運動、森林ボランティア ・交換グッズ めじろんマスコット、めじろん風呂敷等 ・植樹活動 寄付されたエコマネー等による植樹を実施	ごみゼロおおいた推進室
4 新 アジア・太平洋水・環境交流推進事業	12,985 (0)	「アジア・太平洋水サミット」の開催に合わせ、水問題に取り組む県民の交流の場として、また水をめぐる本県の豊かな文化の魅力を世界に発信する場として各種併催行事の準備に着手する。 ・サミット開催日時 19年12月3日～4日 ・開催地 別府市（ビーコンプラザ）	企画調整課
5 森林環境保全推進事業	296,000 (210,000)	森林の有する公益的機能の保全や森林を守り育てていく県民意識の醸成を目的として徴収する「森林環境税」を基金に積み立て、税導入の趣旨に沿った各種事業を実施する。	森との共生推進室
6 森林づくりボランティア推進事業 (森林環境税活用事業)	17,529 (15,500)	県民の森林ボランティア活動を推進するため、地域通貨（エコマネー「めじろん」）等を活用し、県内各地域における森林づくり活動を支援する。 また、ボランティアの安全確保や技術向上を図るための講座を開催する。	森との共生推進室
7 森と海をつなぐ環境保全推進事業 (森林環境税活用事業)	5,000 (4,000)	市町村の呼びかけにより結集した地元漁業関係者、地域住民や上流域の林業関係者等が一体となり、海岸に流入した流木等を処理する活動に対し助成する。 【新】台風等により上流域から漁港や港湾などに流入し、滞留する流木等を迅速に処理するため、県漁業協同組合に対し助成する。	廃棄物対策課 漁業管理課
8 荒廃人工林緊急整備事業 (森林環境税活用事業)	16,400 (66,615)	間伐放棄林など災害の発生が懸念される森林について、間伐や再造林を実施し、公益的機能を発揮できる健全な森林に誘導する。	森林整備室
9 美しい里山づくり推進事業 (森林環境税活用事業)	11,900 (13,500)	竹の繁茂等により景観が著しく悪化している地域の里山について、自治会等が行う里山の整備や里山林資源の新たな利活用の取組などに対し助成する。	森との共生推進室

平成19年度一般会計当初予算

【安心】豊かな天然自然・磨き輝き戦略

(単位：千円)

	事業名	予算額	事業概要	所管課
10	新たな育林技術研究開発事業 (森林環境税活用事業)	4,050 (3,800)	低コストで効果の高い新たな育林技術研究を推進し、「災害に強い広葉樹林づくり」や「自然植生を活用した育成複層林づくり」等のための技術指針の作成に対し助成する。 【新】海岸砂地において活着率が高く、植栽後の維持管理が軽減できる海岸保安林に適した樹木に関する研究活動に対し助成する。	森との共生推進室
11	遊び学ぶ森林づくり推進事業 (森林環境税活用事業)	13,192 (12,000)	自治会等が、里山など身近な森林を「遊び学べる森林」に整備する経費に対し助成する。 NPO等が実施する森林体験活動を支援するとともに、みどりの少年団等を対象に県外研修(屋久島)を実施する。	森との共生推進室
12	① 世代間の連携による環境教育推進事業 (森林環境税活用事業)	2,904 (0)	環境に対する責任と役割の理解や自ら環境保全活動に取り組む態度を育成するため、森と海の循環をテーマとした小・中・高校連携による体験型環境学習を実施する。 (日田市、臼杵市)	高校教育課
13	未来へつなげる環境学習推進事業	2,974 (6,409)	環境問題に対する認識と理解を深め、環境保全活動への自主的、主体的な取組を促すため、インターネットを活用し、誰もが自由に学べる環境学習教材を提供する。 地域や学校等で開催される環境学習の場アドバイザーを派遣する。	生活環境企画課
14	産業廃棄物適正処理推進事業	315,000 (248,000)	産業廃棄物税の適正管理と使途の明確化を図るため、基金へ積み立てるとともに、基金を活用し、産業廃棄物の排出抑制、再生利用その他適正な処理の推進を図る各種事業を実施する。	廃棄物対策課
15	産業廃棄物処理施設周辺環境対策事業 (産業廃棄物税活用事業)	18,750 (20,000)	産業廃棄物処理施設の周辺住民の不安解消等を図るため、処理施設設置者、周辺住民、行政で構成する産業廃棄物処理施設環境保全協議会を設置する。(13箇所) 協議会における合意等に基づき、市町村又は施設設置者が実施する処理施設周辺の環境整備や周辺住民の利便に供する施設整備等に対し助成する。(2箇所) また、同様の取組を行う大分市に対し補助する。	廃棄物対策課
16	(再掲) 循環型環境産業創出事業 (産業廃棄物税活用事業)	13,218 (73,204)	産業廃棄物等を地域資源として活用する循環型環境産業を育成するため、産学官連携等による研究開発に取り組む企業に対し助成する。	工業振興課
17	県外産業廃棄物対策事業	79,067 (46,575)	県外産業廃棄物の適正な処理を推進するため、産業廃棄物適正化条例に基づく協定を締結した県外排出事業者から納付される環境保全協力金を基金に積み立てる。 基金を活用し、県外排出事業者への立入調査、県外産業廃棄物受入施設の水质検査等を実施する。 また、同様の取組を行う大分市に対し補助する。	廃棄物対策課
18	離島漁業再生支援交付金事業	40,136 (42,224)	漁村の持つ多面的機能を維持するため、集落機能の維持に不利な条件を抱えた離島における漁業再生活動を支援する。 (姫島、津久見市地無垢島、佐伯市大入島)	農山漁村支援課